



慶應義塾大学ビジネス・スクール

メルカリ 2022 年

5

1 創立

株式会社メルカリ (Mercari, Inc.) は、2013 年 2 月、山田進太郎氏によって、株式会社コウゾウとして設立された。当初の資本金は 2000 万円であった。同年 11 月には、会社名を株式会社メルカリに変更している^[1]。 10

山田氏は、早稲田大学在学中に創業間もない楽天の内定者インターンとして「楽天オークション」の立上げに参加している^[2]。楽天オークションは、10 日遅れで開設された「ヤフオク！」に及ばず、2016 年 10 月 31 日をもってサービスを終了している^[3]。しかし、山田氏は、楽天オークションの立上げを通じて、C to C (個人間取引) について、あとで生きてくる貴重な経験をするようになった。 15

その後、山田氏は「世界で使われる日本発インターネットサービス」を目指して起業し、ウノウを設立する。モバイルゲームで会員数 500 万人を超えるヒットを記録した。山田氏は、ウノウをアメリカのジンガ (Zynga) 社に売却したあともしばらくウノウに留まっていたが、やがて退社し、半年以上をかけて世界を一周する旅に出掛けた。 20

2012 年 10 月に帰国してみると、しばらく日本を離れているあいだに、驚くほどのスピードでスマホ (スマートフォン) が普及していた。楽天オークションの経験から、パソコン上ではヤフオク！に勝てないことはわかっていたものの、スマホ上の C to C なら、これまでと違った新しいプラットフォームが作れるのではないかと、現在のメルカリにつながるアイデアを思いつく。当時、存在していたフリマアプリ (flea market application) は、女性のファッションなど、特定のジャンルに特化したもので、ヤフオク！ 25

^[1] 株式会社メルカリ、第 10 期有価証券報告書より。

^[2] 以下、「第 47 回ビジネスなるほどゼミ 2 年半で 2300 万人 メルカリ急成長の謎 スマホ向けフリマで圧勝できた理由」、『日経 TRENDY』、2016 年 3 月号、74-75 ページより。

^[3] <https://rakuma.rakuten.co.jp/info/auction/>

このケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクール教授 太田康広がクラス討議の資料として作成した。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで (〒 223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp)。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法 (電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない) による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は <http://www.bookpark.ne.jp/kbs/> から。

30

Copyright © 太田康広 (2018 年 12 月 作成、2023 年 4 月改訂)